発表年

死神の精度

2012 体育館の殺人

短編集

## 江戸取図書館便り 9月2号



## -新着図書紹介-



## 9月9日は、「重陽の節句」と呼ばれます。

じんじつ

じょうし

重陽とは、(陽の数である九が重なる意)。五節句(人日の節句 1月7日七草粥・上巳の節句 3月3日桃の節句・端午の節句 5月5日・七夕の節句 7月7日・重陽の節句 9月9日)の一つ。陰暦9月9日、日本では奈良時代より宮中で観菊の宴が催された。菊の節句。(広辞苑) \*1月1日は、元旦・元日。\*元日の節会とは、元日の朝貢の後に天皇が紫宸殿で百官に宴を賜る儀式。(広辞苑)



## ミステリ基本図書30選(図書館長選)

<海外編>

新刊蔵書

1841	モルグ街の殺人事件	短編集	ボー	石波少年又庫はか	近代ミステリの土台がここにある。	0
1892	シャーロック・ホームズの冒険	短編集	ドイル	創元推理文庫ほか	永遠不滅の名作とはこういうもののこと。	0
1932	Xの悲劇	長編	クイーン	角川文庫ほか	論理で犯人を特定。これぞ推理小説。	0
1939	そして誰もいなくなった	長編	クリスティ	ハヤカワ文庫	ミステリとの相性を測るのにうってつけの名作。	0
1942	幻の女	長編	アイリッシュ	ハヤカワ文庫	タイムリミット・サスペンス。ハラハラドキドキの面白さ。	0
1947	妖魔の森の家	短編集	カー	創元推理文庫	表題作の真相に驚け。	0
1947	九マイルは遠すぎる	短編集	ケメルマン	ハヤカワ文庫	タイトルの意味は、読めばわかる。	0
1952	ママはなんでも知っている	短編集	ヤッフェ	ハヤカワ文庫	安楽椅子探偵ものの最高峰とも称される逸品。	0
1953	あなたに似た人 1・2	短編集	ダール	ハヤカワ文庫	日常の中に紛れ込む非日常。ブラックな味わい。	0
1966	怪盗ニック全仕事 1~6	短編集	ホック	創元推理文庫	価値のないものを盗む泥棒が遭遇する事件の数々。	0
1967	大穴	長編	フランシス	ハヤカワ文庫	冒険小説系から一冊。絶望から再起する男。	0
1977	星を継ぐもの	長編	ホーガン	創元推理文庫	SFとミステリのハイブリッド。スケールの大きさ。	0
1984	クリスマスのフロスト	長編	ウィングフィールド	創元推理文庫	警察小説の代表として。キャラクターもよし。	0
			キング	文春文庫	予備知識なしで読むと驚きが・・・。	品切
1987	ミザリー	長編	<b>エン</b> フ	<u> </u>	が個別職なりて記ると思るが、・・・。	10 90
1997	まザリー ボーン・コレクター 上・下	長編	ディーヴァー	文春文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。	0
			ディーヴァー		最後の最後まで気を抜いてはいけない。	0
1997			ディーヴァー	国内編入	最後の最後まで気を抜いてはいけない。	0
1997	ボーン・コレクター 上・下	長編	ディーヴァー	国内編入	最後の最後まで気を抜いてはいけない。	新着蔵書
表年 1930	ボーン・コレクター 上・下 加島の鬼	長編	ディーヴァー	文春文庫 <b>国内編</b> 創元推理文庫ほか	最後の最後まで気を抜いてはいけない。	新着蔵書
表年 1930 1947	ボーン・コレクター 上・下 孤島の鬼 獄門島	長編長編	ディーヴァー	文春文庫 <b>国内編</b> 創元推理文庫ほか  角川文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。	新着蔵書
表年 1930 1947 1955	ボーン・コレクター 上・下 孤島の鬼 駄門島 人形はなぜ殺される	長編長編	ディーヴァー 江戸川乱歩 横溝正史 高木彬光	文春文庫  国内編  創元推理文庫ほか  角川文庫  光文社文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。  とこを切り取っても乱歩。乱歩にしか書けない世界。 金田一と言えば少年ではなく耕助である。 タイトルがすでに傑作。中身も負けていない。	新着蔵書
表年 1930 1947 1955 1975	ボーン・コレクター 上・下 孤島の鬼 獄門島 人形はなぜ殺される 亜愛一郎の狼狽	長編 長編 長編 短編集	ディーヴァー  江戸川乱歩 横溝正史 高木彬光 泡坂妻夫	文春文庫  国 内 編   創元推理文庫ほか  角川文庫  光文社文庫  創元推理文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。  どこを切り取っても乱歩。乱歩にしか書けない世界。 金田一と言えば少年ではなく耕助である。 タイトルがすでに傑作。中身も負けていない。 奇妙な謎と、鮮やかな解明が楽しい。	新着蔵書
表年 1930 1947 1955 1975	ボーン・コレクター 上・下 孤島の鬼 獄門島 人形はなぜ殺される 亜愛一郎の狼狽 戻り川心中	長編 長編 長編 短編集 短編集	ディーヴァー  江戸川乱歩 横溝正史 高木彬光  泡坂妻夫 連城三紀彦	文春文庫  国内編) 創元推理文庫ほか 角川文庫  光文社文庫 創元推理文庫  光文社文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。  どこを切り取っても乱歩。乱歩にしか書けない世界。 金田一と言えば少年ではなく耕助である。 タイトルがすでに傑作。中身も負けていない。 奇妙な謎と、鮮やかな解明が楽しい。 驚愕のトリック+美しい文章=奇跡の一冊	新着蔵書
表年 1930 1947 1955 1975 1980	ボーン・コレクター 上・下 孤島の鬼 獄門島 人形はなぜ殺される 亜愛一郎の狼狽 戻り川心中 斜め屋敷の犯罪	長編 長編 長編 短編集 短編集	ディーヴァー  江戸川乱歩 横溝正史 高木彬光 泡坂妻夫 連城三紀彦 島田荘司	文春文庫  国内編  創元推理文庫ほか  角川文庫  光文社文庫  創元推理文庫  光文社文庫  光文社文庫  光文社文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。  とこを切り取っても乱歩。乱歩にしか書けない世界。 金田一と言えば少年ではなく耕助である。 タイトルがすでに傑作。中身も負けていない。 奇妙な謎と、鮮やかな解明が楽しい。 驚愕のトリック+美しい文章=奇跡の一冊 これを読んだ時の衝撃は忘れられない。	新着蔵書
表年 1930 1947 1955 1975 1980 1982	ボーン・コレクター 上・下 孤島の鬼 獄門島 人形はなぜ殺される 亜愛一郎の狼狽 戻り川心中 斜め屋敷の犯罪 十角館の殺人	長編 長編 長編 短編集 短編集 長編	ディーヴァー  江戸川乱歩 横溝正史 高木彬光 泡坂妻夫 連城三紀彦 島田荘司 綾辻行人	文春文庫  「国内編」  創元推理文庫ほか  角川文庫  光文社文庫  創元推理文庫  光文社文庫  光文社文庫  光文社文庫  講談社文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。  とこを切り取っても乱歩。乱歩にしか書けない世界。 金田一と言えば少年ではなく耕助である。 タイトルがすでに傑作。中身も負けていない。 奇妙な謎と、鮮やかな解明が楽しい。 驚愕のトリック+美しい文章=奇跡の一冊 これを読んだ時の衝撃は忘れられない。 日本ミステリ史の分岐点となる重要な作品。	新着蔵書
1997 表年 1930 1947 1955 1975 1980 1982 1987	ボーン・コレクター 上・下  孤島の鬼 獄門島 人形はなぜ殺される 亜愛一郎の狼狽 戻り川心中 斜め屋敷の犯罪 十角館の殺人 我らが隣人の犯罪	長編 長編 長編 短編集 短編集 長編 長編 長編	ディーヴァー  江戸川乱歩 横溝正史 高木彬光 泡坂妻夫 連城三紀彦 島田荘司 綾辻行人 宮部みゆき	文春文庫  「国内編」  創元推理文庫ほか 角川文庫  光文社文庫 創元推理文庫  光文社文庫  光文社文庫  満談社文庫  文春文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。  どこを切り取っても乱歩。乱歩にしか書けない世界。 金田一と言えば少年ではなく耕助である。 タイトルがすでに傑作。中身も負けていない。 奇妙な謎と、鮮やかな解明が楽しい。 驚愕のトリック+美しい文章=奇跡の一冊 これを読んだ時の衝撃は忘れられない。 日本ミステリ史の分岐点となる重要な作品。 国民的作家。読みやすさを優先させるとこれ。	新着蔵書 ○ ○ 品切 ○ 品切
1997 表年 1930 1947 1955 1975 1980 1982 1987 1987	ボーン・コレクター 上・下 加島の鬼 獄門島 人形はなぜ殺される 亜愛一郎の狼狽 戻り川心中 斜め屋敷の犯罪 十角館の殺人 我らが隣人の犯罪 空飛ぶ馬	長編長編集短編集長編短編集集短編集集短編集集	ディーヴァー  江戸川乱歩 横溝正史 高木彬光 泡坂妻夫 連城三紀彦 島田荘司 綾辻行人 宮部みゆき 北村薫 岡嶋二人	文春文庫    国 内 編     創元推理文庫ほか     角川文庫     光文社文庫     創元推理文庫     光文社文庫     光文社文庫     講談社文庫     文春文庫     創元推理文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。  どこを切り取っても乱歩。乱歩にしか書けない世界。 金田一と言えば少年ではなく耕助である。 タイトルがすでに傑作。中身も負けていない。 奇妙な謎と、鮮やかな解明が楽しい。 驚愕のトリック+美しい文章=奇跡の一冊 これを読んだ時の衝撃は忘れられない。 日本ミステリ史の分岐点となる重要な作品。 国民的作家。読みやすさを優先させるとこれ。 日常の謎という一ジャンルを開いた傑作。	新着蔵書
1997 表年 1930 1947 1955 1975 1980 1982 1987 1987 1989	ボーン・コレクター 上・下 孤島の鬼 獄門島 人形はなぜ殺される 亜愛一郎の狼狽 戻り川心中 斜め屋敷の犯罪 十角館の殺人 我らが隣人の犯罪 空飛ぶ馬 クラインの壺	長編 長編 長編 長編 長編 長編 長編 長編 長編 長編 長編 長編 長編	ディーヴァー  江戸川乱歩 横溝正史 高木彬光 泡坂妻夫 連城三紀彦 島田荘司 綾辻行人 宮部みゆき 北村薫 岡嶋二人	文春文庫    国 内 編     創元推理文庫ほか     角川文庫     光文社文庫     創元推理文庫     光文社文庫     瑞談社文庫     文春文庫     創元推理文庫     講談社文庫	最後の最後まで気を抜いてはいけない。  どこを切り取っても乱歩。乱歩にしか書けない世界。 金田一と言えば少年ではなく耕助である。 タイトルがすでに傑作。中身も負けていない。 奇妙な謎と、鮮やかな解明が楽しい。 驚愕のトリック+美しい文章=奇跡の一冊 これを読んだ時の衝撃は忘れられない。 日本ミステリ史の分岐点となる重要な作品。 国民的作家。読みやすさを優先させるとこれ。 日常の謎という一ジャンルを開いた傑作。 30年前の作品とは思えないほど現代的。	新着蔵書

\*「ミステリ基本図書 30 選」は、ミステリが読みたいというリクエストに応えて、図書館長が選定しました。

創元推理文庫

文春文庫

予備知識なしで読むのがよい。楽しい楽しい。

現代日本のミステリをリードする存在と言ってよい。

\*ミステリと言えばアガサ・クリスティ。代表作は、『そして誰もいなくなった』です。

伊坂幸太郎

ミステリの映画化でお薦めは、『ボーン・コレクター』です。1999 年のアメリカ映画で、日本公開は2000 年です。 (司書)